

農林水産商工常任委員会資料

(令和7年12月2日)

項目	ページ
■ 令和8年産米の生産数量目標について 【生産振興課】	2
■ 米の価格動向について 【生産振興課、食パラダイス推進課】	3
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課、林政企画課、水産振興課】	4

農林水産部

令和8年産米の生産数量目標について

令和7年12月2日
生産振興課

12月1日に開催された鳥取県農業再生協議会（以下「県再生協」という。）で、令和8年産米の生産数量目標が設定されましたので、その概要について報告します。

1 全国の需給状況

国は、10月31日公表の「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において、令和8年産米の生産見通しを711万トンと示した。

2 鳥取県における令和8年産の米生産数量目標の設定について

県再生協において、JAグループの販売計画及び国の需給見通し情報等を勘案し、令和8年産米の生産数量目標を以下①から②の範囲とすることが提案され、全員賛成で承認された。

①国需給見通しからの試算値：62,568 トン

②各地域（JA等）の販売計画に基づき作成した生産数量の合計：63,342 トン

※生産数量目標：62,568 トン～63,342 トン（中間値 62,955 トン）

・令和7年度は米価上昇等も踏まえて主食用米増産の取組を推進し、作付面積は前年度より約400ha 増加となったものの、目標（中間値）に届いていない状況である。県産米の需要量に対して、生産量が不足している状況であることから、引き続き、主食用米増産の取組を推進する。

【鳥取県農業再生協議会の構成】

J A グループの長（JA鳥取県中央会、3 JA、県畜産農協、大山乳業農協、全農とっとり、共済連鳥取）、農業法人協会会长、稻作経営者会議会長、農業土連絡協議会長、市長会長、町村会長、関係団体代表（県土連、農業共済、農業会議、農業農村担い手育成機構）等



【生産数量目標(面積換算値)の推移】

(単位:ha)

	生産数量目標			作付面積実績 (備蓄米含む)
	① 国生産見通し に基づく目標	中間値 (目標値の目安)	②各地域の販売計 画に基づく目標	
R6	11,452	11,742	12,032	11,580
R7	11,692	12,053	12,415	11,985
R8	12,178	12,254*	12,330	-

*R8の生産数量目標(中間値)は、R7作付面積実績(11,985ha)から 269ha の増となる。

3 県の対応

今後の米価や需給動向は不透明であることから、国に対しては、11月26日に、主食用米の需給及び価格の安定に向けた体制を構築するとともに、主食用米の流通量・価格等の調査結果を速やかに検証・公表し、丁寧な説明を行うことを要望した。

米の価格動向について

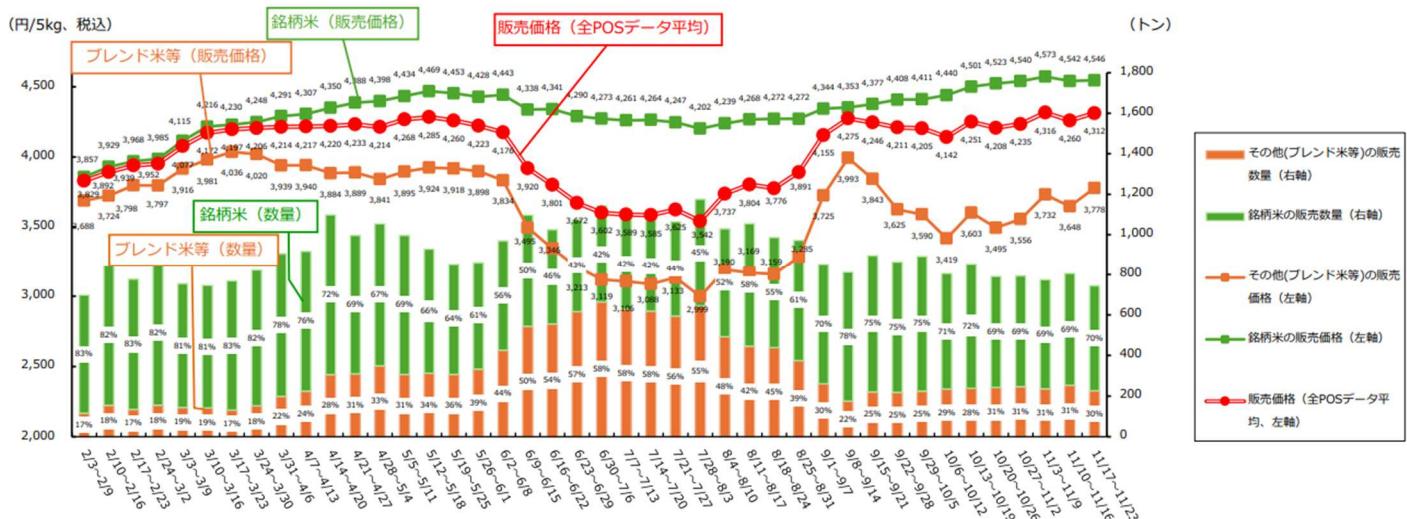
令和7年12月2日
生産振興課
食パラダイス推進課

全国及び県内の米の価格動向について報告します。

1 全国の米の販売価格動向

○11月28日に公表された全国的な米の小売価格（KSP-SP 提供 POS データ）は、11月17日の週の平均価格は4,312円／5kg（税込）（対前週+52円）と2週ぶりの上昇。

- ・平均価格は、新米の出回りや備蓄米の販売が減少したことなどを背景に上昇し、9月以降は4,000円／5kg（税込）を上回る価格で推移。
- ・ブレンド米等の平均販売価格は前週比+130円の3,778円／5kg（税込）
- ・銘柄米の平均販売価格は前週比+4円の4,546円／5kg（税込）
- ・ブレンド米等が占める割合は31%→30%となった。



2 県内小売店への調査（聞き取り）概要

（1）県内の状況（R7.11.28～30 県内小売店10店舗への調査結果）

※事業者数ではなく店舗数で記載

○県内の小売店において在庫は充分に確保されている。

○現時点で定点品目である県産コシヒカリ新米を取扱っているのは9店舗（1店舗は元々、県産米の取扱なし）。販売価格は5kg 4,500～5,378円（前回と変わらず）。

○ほとんどの店舗においてR6年産は終売し、新米に切り替わっている状況。殆どの店舗において新米の売れ行きが芳しくなく、精米時期から1か月程度経過した新米を割引販売（店舗により1～2割引）したり、特価商品として販売するなど、滞留在庫が生じないよう対策を講じている。

○今後の価格動向については、5店舗が「変わらない」、2店舗が「下がる」、1店舗が「下がる」又は「変わらない」、2店舗が「不明」と答えた（前回、全店舗が「変わらない」又は「下がる」と回答）。「変わらない」と回答しながらも、12月以降、仕入価格が下がるとの情報があること（具体的な時期、価格等は不明）、また、いずれの店舗においても定価販売が主流であった中、特価販売や割引販売が見られるようになったことから、一時的に販売価格が下がるのではないかと回答する店舗が複数あった。

○10月10日調査時、随意契約による備蓄米（当初8月末が販売期限⇒8月19日に9月以降の販売継続について報道され、実際に県内でも販売継続されていた）の県内での販売はほぼ終了したように見られていたが、今回の調査では、2店舗で入札備蓄米、1店舗で随意契約による備蓄米を販売中であることを見た（いずれも入荷は不定期）。

（2）調査対象店舗

県内のスーパー・マーケット、ドラッグストア等（10店舗）

- [東部] 2店舗
- [中部] 1店舗
- [西部] 2店舗
- [広域展開] 5店舗

（3）調査方法及び項目

購入制限、在庫状況、入荷状況、価格動向（見込み）、店頭価格 等

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和7年12月2日
農地・水保全課
林政企画課
水産振興課

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方法
水産振興課 (営繕課)	境漁港高度衛生管理型市場整備事業8号上屋新築工事(1工区)	境港市昭和町	金田工務店・平田組 JV 代表者 株式会社金田工務店 代表取締役 金田 勝	370,700,000円 (予定価格) 372,240,000円	令和7年11月19日 ～ 令和9年1月15日	令和7年11月18日	制限付 一般競争入札 (1社)
水産振興課 (営繕課)	境漁港高度衛生管理型市場整備事業8号上屋新築工事(2工区)	境港市昭和町	美保テクノス・TMS JV 代表者 美保テクノス株式会社 代表取締役社長 野津 健市	374,000,000円 (予定価格) 377,080,000円	令和7年11月19日 ～ 令和9年1月15日	令和7年11月18日	制限付 一般競争入札 (1社)
水産振興課 (営繕課)	境漁港高度衛生管理型市場整備事業8号上屋新築工事(機械設備)	境港市昭和町	有限会社橋本工業所 代表取締役 熊谷 主拡	119,570,000円 (予定価格) 121,550,000円	令和7年11月20日 ～ 令和9年1月15日	令和7年11月19日	制限付 一般競争入札 (1社)

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	観ノ目ため池改修工事	倉吉市 尾原	株式会社 共栄組 代表取締役 山崎 稔	(当初契約額) 124,960,000円	令和6年10月7日 ～ 令和7年11月17日	(当初契約年月日) 令和6年9月10日	
				(第1回変更後契約額) 142,014,400円 〔(変更額) 17,054,400円〕	令和6年10月7日 ～ 令和7年11月17日	(第1回変更契約年月日) 令和7年5月8日	・当初、仮設道路に使用する盛土材は他工事から流用する計画であったが、流用土の含水比が高く使用出来ないことが判明し、購入土に変更したことによる工事費の増額。 ・ため池内の泥土処分について配合試験の結果、添加剤を増量する必要が生じたことによる工事費の増額。
					令和6年10月7日 ～ 令和8年1月16日	(第2回変更契約年月日) 令和7年11月13日	・堤体盛土へ流用する現場発生土の水分量が高く、10月末まで曝気乾燥行つたが、一部の材料で水分量の低下が見込めず、代替盛土材の確保に不測の日数を要したことによる工期の延伸。
林政企画課 (東部農林事務所八頭事務所)	鳥取少年自然の家跡地舗装ほか工事	鳥取市 桂見	やすなが工事株式会社 代表取締役 世古 真道	(当初契約額) 88,000,000円	令和7年5月30日 ～ 令和7年10月15日	(当初契約年月日) 令和7年5月30日	
				(第1回変更後契約額) 88,000,000円 〔(変更額) 0円〕	令和7年5月30日 ～ 令和7年12月26日	(第1回変更契約年月日) 令和7年10月15日	・進入路の排水施設工について、関係機関との調整に時間を要したことに伴う工期の延伸。
				(第2回変更後契約額) 100,346,400円 〔(変更額) 12,346,400円〕		(第2回変更契約年月日) 令和7年11月28日	・路面の浸食防止等のため路床高さを計画高まで仕上げていたことに伴い、土工事を追加したことによる工事費の増額。 ・路面排水等を考慮し、管理道の排水施設工を追加したことによる工事費の増額。 ・土質試験の結果を踏まえ、進入路の舗装構成を一部見直したことによる工事費の増額。 ・駐車スペースとして利用することとした箇所に舗装工を追加したことによる工事費の増額。